

input.sty の使い方

関口和真

平成 27 年 2 月 27 日

1 定義されているコマンド

inputs 環境

この中で input したファイルはそれ単体でコンパイルできる状態でも取り込める。次のコマンドが局所的に無効化されている。

- documentclass
- usepackage
- tableofcontents
- enddocument
- maketitle
- document
- appendix

title,author も無効化したいがうまくいかない

input で参照されるファイル内で本体ファイルで定義されているものと重複するようなコマンドを newcommand などで定義すると本体ファイルとは独立に input されたファイル内でのみ有効なコマンドができる。

2 input.sty の使用例

2.1 基本的な使い方

本体ファイルには inputs 環境を作り，その中で読み込みたいファイルを input する．例えば

```
\begin{inputs}
  \input{example.tex}
\end{inputs}
```

として example.tex というファイルを読み込む．

input で読み込んだファイルの中身ここから
input で読み込んだファイルの中で test コマンドを新たに定義し waya という出力を得る．

input で読み込んだファイルの中身ここまで

2.2 マクロを組んだ場合の効果

本体ファイルで test というコマンドを作り\test として hoge という結果を得る．その上で example.tex というファイルを読み込む．

input で読み込んだファイルの中身ここから
input で読み込んだファイルの中で test コマンドを新たに定義し waya という出力を得る．

input で読み込んだファイルの中身ここまで

さらに本体ファイルに戻り\test を実行すると再び hoge という結果を得る．
同じコマンド名でも input ファイルの中だけで有効なものが作れる．